

地域連携推進会議（説明内容）

日時：令和7年10月28日（火曜日） 10時～11時

場所：ファミリーホーム秦野 共有スペース

主催：ファミリーホーム秦野

参加者：柳瀬和枝（ファミリーホーム秦野管理者兼サビ管）、

服部愛（ファミリーホーム支援員リーダー）、

T様（曾屋セブソイルブン会長、M様（利用者様家族）、

Y様（利用者）

1. 開会あいさつ

- ・ 主催者よりごあいさつ
- ・ 会議の趣旨と目的の説明

2. 出席者紹介

- ・ 自己紹介
- ・ 欠席者の紹介

3. 施設概要と支援内容の説明

- ・ 共同生活援助（介護包括型）の概要
- ・ 利用者の生活スタイル（個室での生活、食事の提供、金銭管理支援など）

4. 障がいについての基本的な理解

- ・ 障がいの種類と支援の工夫
- ・ コミュニケーションや環境面の配慮

5. 利用者の日常生活の紹介

- ・ 日中活動、帰宅後の過ごし方
- ・ 職員による生活支援（掃除、金銭管理など）

6. 地域との関わり・行事の紹介

- ・ たばこ祭りへの参加
- ・ 毎月の壁画づくり
- ・ 月1回のイベント食の実施

7. 意見交換・質疑応答

- ・ 地域の方からのご意見・ご質問
- ・ 今後の連携に向けた提案やアイデア

8. 施設見学のご案内（任意・希望者のみ）

- ・ ご希望があれば、施設内をご案内

9. 閉会あいさつ

- ・ ご参加への感謝
- ・ 今後の協力をお願い
- ・ 次回開催予定のご案内（未定の場合は「後日ご連絡」）

■ 共同生活援助（介護包括型）について

まずは、私たちのグループホームが提供している「共同生活援助」についてご説明いたします。

共同生活援助とは、障がいのある方が地域の中で、少人数で一緒に暮らしながら、日常生活に必要な支援を受ける福祉サービスです。

私たちの施設は「介護包括型」と呼ばれる形で運営しており、利用者さんの生活全体を支える支援体制を整えています。

利用者さんはそれぞれ個室で生活しており、プライバシーが守られた空間で、ご自分のペースで過ごされています。

一方で、朝・昼・晩の食事は共有スペースで提供しており、食事の時間には利用者様同士が顔を合わせ、職員と一緒に過ごすことで、自然な交流の場にもなっています。

また、金銭管理の支援では、日々の買い物やお小遣いの使い方などを一緒に確認しながら、無理のない範囲で自立を促しています。

部屋の掃除など、生活環境を整える支援も行っており、清潔で落ち着いた空間で過ごせるよう心がけています。

■ 障がいについての基本的な理解

続いて、障がいについての基本的な理解を深めていただく為の内容です。

障がいには、身体・知的・精神などさまざまな種類があり、それぞれに応じた支援の工夫が必要とされています。

たとえば、音に敏感な方には、静かな環境づくりや、落ち着けるスペースの確保など、安心して過ごせる工夫をしています。

ご自身で困難とされている生活面全般のサポートを行いながら、利用者様が自立される事を目的とした訓練としてお手伝いをさせていただいています。

また、日々の生活の中で、困り事などの相談を受ける事が多々あります。

一人で悩まれる事がないよう常に支援員からの声掛けを心掛けています。

こうした支援は、利用者さんの「その人らしさ」を大切にしながら、地域の中で安心して暮らしていくためのものとなっていると考えています。

■ 利用者の日常生活の様子

次に、グループホームでの利用者さんの日常生活についてご紹介します。

朝は共有スペースにて朝食をとり、日中はB型作業所や生活介護に通う方もいらっしゃいます。帰宅後は、それぞれの個室で過ごしながらか、必要に応じて職員と会話をしたり、相談をしたりしています。

食事の時間には、共有スペースに集まり、他の利用者さんと一緒に食卓を囲みます。

食事は、栄養バランスを考えたメニューを提供しており、利用者さんの健康面にも配慮しています。

生活の中では、部屋の掃除を職員が手伝うこともあります。

清潔な環境を保つことで、利用者さんが安心して過ごせるようにしています。

■ 地域行事と施設内レクリエーション

続いて、地域とのつながりや、施設内でのレクリエーションについてご紹介します。

私たちのグループホームでは、地域の行事にも積極的に参加しています。

たとえば、秦野市で毎年開催される「たばこ祭り」では、利用者さんを送迎したり、共有スペースで集まってお菓子を食べながら皆で花火を観たりとイベントを楽しまれています。地域の方とのふれあいが生まれる、貴重な機会です。

施設内では、利用者様と一緒に施設周りのごみ拾いや、毎月のレクリエーションとして「壁画づくり」を行っています。

季節の風景や行事をテーマに、貼り絵をしたりして、ホームの壁を彩っています。

完成した壁画は、ホームページに毎月更新しており、来訪された方にもご覧いただけるようにしています。

また、月に一度の「イベント食」も楽しみのひとつです。

それぞれの季節に合わせたメニューはとても風情を感じ、利用者さんの笑顔があふれる時間で、とても好評を得ています。

こうした活動は、生活の中に楽しみや達成感を生み出し、利用者さんの心の安定にもつながっていると感じます。

施設紹介

■ 安全性への取り組み

利用者様の安全を守るため、「虐待委員会」や「感染症対策委員会」を設け、「虐待防止」「感染症対策」「防災対策」等の指針やBCPによる定期的な研修を実施。また、「虐待委員会」や「感染症対策委員会」を設け、情報の共有や意見交換を行い支援の質の向上に努めています。

■ 個別支援計画の作成

利用者様との面談やモニタリングを定期的に行い、半年毎の「個別支援計画書」をサービス管理責任者により作成しています。その個別支援計画書を元に、利用者様それぞれのニーズに合わせた支援を行っています。

■ 施設的环境・立地

私たちのグループホームは、高台にあり利用者様の居室からの眺めも良く、弘法山等が一望できます。自然に囲まれ静かで落ち着いた環境にあります。

まれに鹿の親子を見かける事もあり、利用者様や私達支援員に癒しを与えてもらう事もあります。日常の中で自然や地域の方と触れあえる場所となっています。

■ 建物の特徴・共有スペースの紹介

建物は5階建てで、2階が高齢介護施設となっており、私達グループホームの居住スペースは3階と4階部分となっており、定員は19名です。

各居室は独立型のバス、トイレ付きの個室になっていて、プライバシーが守られた空間になっています。

共有スペースとしては、食事や団らんの時間をみんなで過ごしています。

■ 日常の様子や地域との関わり

毎日の生活の中で、近所の方とあいさつを交わしたり、地域の行事に参加したりすることもあります。

地域の方に見守っていただけることで、利用者さんも安心して暮らすことができます。

利用者様は日中活動としてほとんどの方が生活介護やB型作業所に通われており、一部の方が一般就労をされています。私達の共同生活援助は、利用者様が将来的に一人暮らしや一般就職される事を目的として、社会生活を送る為の訓練の場となるよう支援しています。

■ グループホームの理念

今後も、地域の皆さまと繋がりながら、利用者様が住み慣れた街で、より自分らしく暮らして行けるよう、利用者様と共に考え、共に活動することを理念とし、利用者様が安心して生活できるお手伝いを続けて参ります。